

体育館に力作づくり

第21回市民書初め展



恒例の市民書初め展示会が、さる二月二十日から二十八日までの間、総合体育館を会場に行いました。この市民書初め展は、市民の豊かな情操と教養を高め書道の啓蒙と普及

書初め展審査講評

審査員長 高橋 清

小・中学校の作品について申しますと、レベルは大変高いと思いました。また、しっかりとした格調の高い作品が多かった。大変充実した作品が多かったものですから、審査にあたって緊張感がみなぎり、顔や身体から汗の流れ出るのを感じました。

つぎは高校の作品ですが、全般的に素直さが感じられ、幅のある、そして呼吸の長い線質は、つくづく若いつてことはいいなあと思わず回顧の懐にかられました。さて、このような審査のある催しでは、まず撰文に留意していただきたいことです。また臨書作品を出品する場合には、出来るだけ同文のところは書かないでほしい。そして出来るだけ別な法帖を選んでバラエティにとんだ会場効果をあげるよう工夫してほしい。それから今一つ、折角本文を立派に書きながら落款が非常に見劣りしていたことです。

最後に一般部の作品について苦言を提しておきます。率直に低調であったと申し上げておきます。18点の出品作品全般に言われることは、

- ①個性の表現に乏しい
 - ②自分のものを書くとする意志が弱い
- そこで私はご提案申し上げたいのですが、自分を見出すためにはまず古典の研究を、古典の研究の中から個性をつかみ出して下さい。

特別賞の受賞者

一般の部

市長賞 佐藤晶伸(本所)
市書道会長賞 稲田文子(新町)

高校生の部

栃尾タイムス社賞 高橋宏子(栃尾二年) 刈谷田新報社賞 阿部静子(栃尾三年)

中学生の部

市教育委員長賞 多田里美(南三年) 市公民館長賞 土田亜希子(栃尾二年)

栃尾商工会長賞 福王寺則子(栃尾一年)

小学生の部

市議会議員賞 酒井佳世子(栃尾六年) 市教育長賞 武土俣直子(東谷三年) 市公運審査委員長賞 姉崎久美子(一之貝軽井沢分二年)

通信教育の二案内

インターネットを上手に

「だれでも、いつでも、どこでも学べる……」文部省が国民の皆様にご活用いただくことを目指しているのが、文部省認定社会通信教育です。現在、社会通信教育に学ぶ人達は年間五十六万人で、それぞれ働きたがら、学校に通いながら、あるいは家庭を守りながら、あすを自覚して努力しています。

市公民館には、各種通信教育の資料がといており、ですので、お気軽にご利用ください。

文部省認定 社会通信教育

文部省では、社会教育法により学校や社団法人などが行う社会通信教育で、社会教育上奨励すべきものについて認定しています。入学時期が定まっていないので、希望するときにだれでもいつでも入学することが出来ます。

NHK学園 社会通信講座

豊富な内容の講座で、学びやすい教材をお届けします。全国各地の方に利用していただくため、少ない受講料で学べます。春の募集は、五月二

十日が受付締切です。○講座コース名

書道、硬筆、母と子の硬筆、簿記、俳句、文章、絵画、囲碁、英語、数学、国語

★青年の丘シリーズ

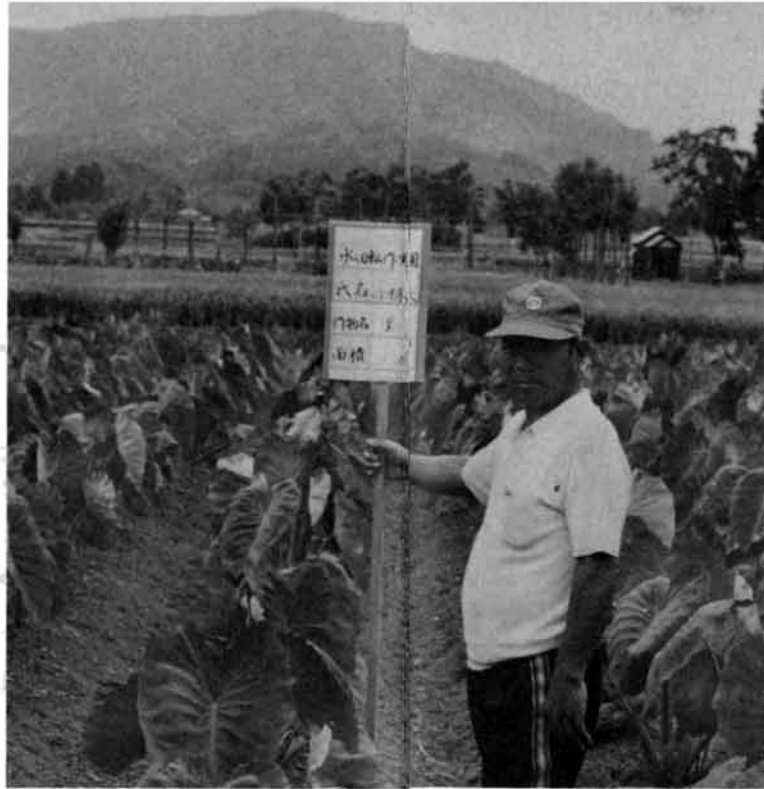
県立青少年研修センターでは、青年や青少年指導者などを対象に、「青年の丘シリーズ」を開催しています。あなたも生きがいある健康な明るい生

にぎわった第1回克雪フェスティバル

「雪を克服し大いなる飛躍」をテーマに、2月20、21日、中央公園で行った第1回栃尾市克雪フェスティバル。初日の20日は雨にたたられたものの翌日は3月下旬の暖かさになり、広場に造られた、城をかたどった雪の舞台では、民謡、カラオケショー、総合体育館での克雪資料展、書画展、織物などの即売に2万5千の人出でにぎわいました。(関連4・5ページ)

おもな内容

今年の水田転作	2・3
第1回克雪フェスティバル	4・5
広報永年保存者7人	6・7
請願と陳情はこのように	6・7
交通死亡事故ゼロ継続へ	8
春の火災予防運動	9
4年ぶりに出稼ぎ先訪問	10
祭り化したサイの神	11
公民館のページ	12



57年度集落別 転作目標面積(a)

Table with 2 columns: 集落名 (Village Name) and 面積 (Area). Lists various villages and their corresponding target conversion areas in hectares.

水田利用再編第二期対策 今年の転作目標面積260ヘクタール

米の消費減退と面積当りの収量の伸びで、過剰米がでています。これを改善するために、行われているのが水田利用再編対策。昨年からの第二期対策に入り実施されていますが、五十七年度の割り当て面積は昨年より二・一ヘクタール多い二四五六ヘクタールです。市は、この面積を各農家の水田耕作面積等に応じて割り当て、区長さんを通じて協力を依頼します。この対策は、農業の長期的視点に立って、米の需給を均衡させつつ、需要の動向に安定した農業生産構造を確立するため、おおむね十年間にわたる事業として行っているものです。山間地農業にとって、この対策を効率的に進めるためには、十分な研究が必要です。

減る米の消費量 65年には一人63*

本市の産業といえば、繊維工業と農業。繊維産業が構造不況といわれ、その立ち直りのきつかけさえ見い出せない中、水田利用再編対策が進め

られ、兼業の多い本市農家にとってはダブルパンチ。農家にとっては、きまっただけ、高い収入を目ざしていることはいうまでもありません。しかし、年々米の消費量は減少し、昭和五十三年には、一人当り年間消費量は八〇・六*(約一俵半)になりました。これは三十年代の米消費のピーク時の約三分の二の量といわれています。また、今後の推移をみると六十五年には、六三から六六*程度に減少す

57年産米298ト 生産を調整

それでは、どれくらい余ることになるのでしょうか。まず、

56年度の転作 一一一%を達成

昨年、栃尾市に割り当てられた転作等の面積は二四七・九ヘクタールでした。これを各農家に割り当ててお願いしたところ市全体では一一一%の実績でした。

ころ、達成できなかったところなどいろいろですが、土地改良通年施行(ほ場整備等)の面積が加えられ、好成績を上げる要因になりました。五十七年度は、今年度より二・一五ヘクタール割り当て面積が増えているため、昨年に増して協力をお願いしなければなりません。

て四・六万ヘクタールを減らし六三・一万ヘクタールにしました。この面積が都道府県に割り当てられ、市町村から各農家に依頼したわけです。

転作の作物、条件で 奨励金が異なる

米の必要量を示すと、農家の消費などに三二〇万ト、政府米、自主流通米などの予約限年度数量七三五万トの一、〇五五万トです。これに対し潜在生産量は、一、三七五万トと推測され、生産量と消費量の差三二〇万トが余る計算になり、生産調整を必要とする量です。

米以外の作物には、大きく分けて、特定作物と一般作物があり、特定作物には、大豆飼料作物、そば、てん菜、麦ハトムギなどがあります。本市は、降雪などの気象条件もあり、てん菜、麦などは、ほとんど栽培されていません。一般作物は、さといも、なす、きゅうりなどをいい、特定作物、永年性作物以外の作物をいいます。

転作によって奨励補助金が出ますが、金額はそれぞれ作物や条件によって、下の表のように異なります。各地域によって定めてある地域振興作物は、本市の場合「れんこん」です。

第二期対策の転作奨励補助金

●10アール当りの奨励補助金(平均)

(単位:千円)

Table showing average incentive subsidies per 10 ares for various crop types and conditions. Columns include '転作' (Conversion) and '奨励補助金' (Incentive Subsidy).

*但し、地域振興作物(一般作物)に認定された作物は10a当り5,000円加算される。また、3年以上の保全管理は10a当り30,000円となります。

●奨励補助金の交付要件

Table detailing the conditions for the incentive subsidy, including '基本額' (Basic Amount), '計画加算' (Plan Addition), and '団地化加算' (Condominium Conversion Addition).

第二期対策では、加算金制度が見直しされました。例えば、地域振興作物「れんこん」を栽培した場合は、一〇アール当り五千円が加算されたり

水田預託(保全管理)の期間が三年までとされていたものが、六年まで預託できるようになりました。ただし、この場合の転作奨励補助金は、三年までのものに比べ一〇アール当り五千円低い額になります。桑、果樹、養魚池など永年

性作物などに転作したときは三年から五年間、転作補助金を交付し転作面積にしてきましたが、五十七年度以降に奨励補助金が切れる転作実施水田については、第二期の期間中(五十七、五十八年度)に限って転作等の達成面積に算入することができます。



総合体育館の資料展、消雪器材展示も好評



好天に恵まれ家族連れでにぎわう雪の広場



豪雪、雪下ろし、なだれと、私たち雪国に住む者の雪に対するイメージは、暗く重苦しいものがあります。

しかし、雪との闘いが私たちの宿命である以上、ただ苦しいと言うばかりでなく、雪を利用し、雪を楽しむ生活を考えようと、2月20、21日中央公園、総合体育館で「第1回栃尾市克雪フェスティバル」が開かれました。

初日雨にたたられ、市民の出足が心配されましたが、2日目は好天に恵まれ、主催者の予想を大幅に上回る人出となりました。

雨のち晴

克雪フェスティバル

関心呼び人出は二万五千人



雪のステージは、商工会青年部、栃高野球部が、仕事、授業を終えてから9日間を費やし完成。



実行委員会は、第一回克雪フェスティバルの反省点と二回目以降の抱負を次のように語っています。

まず第一に準備期間が短かったため、いま一つ内容が十分でなかったことがあげられます。

来年以降は、計画立案、準備に十分時間をかけて実施するとともに、十日町市

来年に向けて

などの雪まつりの亜流といわれない、栃尾独自のフェスティバルを目指したい。

また、開催時期と場所についても、黒雪フェスティバルといわれないよう早めることと、中央公園完成後はどこでやるのかなどを検討しなければなりません。

そのうえで、来年は今年以上のものにしてほしいと思う。

2・25

反省会議

2・22

雪器具展示即充、電話資料展会場撤去完了

2・20・21克雪フェスティバル実施(雪の広場)

雪のステージで開会式、民謡、民謡、剣舞、カラオケなど雪像、カマクラ、トンネル、うまいものコーナー(屋外展示場)

除雪機器・冬用品の展示(屋内展示場)

園児、児童、生徒の絵画、書道展、豪雪写真展、防災コーナー、雪の資料展、冬の民具展、冬の食物展、織物即売、電気とくらしのコーナー、消雪器具展示即充、電話資料展会場撤去完了

2・19

展示飾り付け完了、味のコーナーなど屋外会場準備、市役所職員互助会雪像造り

雪の広場完成

2・18

屋内・屋外展示器材搬入と設置作業、展示飾り付け

2・16

チラシ配布

2・14

除雪機械など出店業者説明会

2・12

谷内一丁目雪像造り開始、舞台照明設備設置

2・11

商工会商業青年部、栃高野球部が雪のステージ、雪のアイチ造り

2・10

シ作成、雪搬入

2・8

ポスターはり出し依頼、チラシ作成

2・5

雪像造り、屋内行事、広告募集方法など決定

1・25

雪像造り、屋内行事、広告募集方法など決定

1・19

行事内容について事務局検討

1・14

役員会議、会場、寄付金募集について検討

12・26

後援依頼団体に協力要請

12・26

栃尾市克雪フェスティバル実行委員会結成、事業内容、役員体制を検討

12・13

行事内容など検討

12・13

行事内容・組織体制について協議

12・9

雪利用対策事業準備委員会名称、実施日、体制など協議

12・5

雪利用対策事業準備委員会名称、実施日、体制など協議

12・3

雪利用対策事業準備打合わせ

12・3

会 商工会と市で事前協議



下来伝 佐藤清作さん

広報「とちお」三百号まで保存しているかたはいませんか……。昨年十二月号で、みなさんにお聞きしたところ、七人のかたから十年以上にわたって保存していると電話や手紙、また広報紙を持って来庁いただきました。七人のかたはいずれも、昭和四十二、三年から保存されており、話しを伺うと一様に市政に対し高い関心を示していました。

広報紙永年保存者

永年保存は七人のかたが……

広報「とちお」を永年にわたって保存されていると、市に連絡いただいたかたは次のとおりです。(順不同)
西川次郎さん 菅畑
井良沢与一さん 東町
高山由夫さん 赤谷
佐藤清作さん 下来伝
酒井豊次さん 本所
垂沢竹治郎さん 天下島一
曾田文三さん 大野町四
みなさんは広報「とちお」を永く保存されていることについて、市政、できごとを知りたいために広報「とちお」はよく読んでいます、異口同音に話していました。

保存の動機は……

「広報「とちお」を永く保存している動機について、菅畑の西川次郎さんは……「私はもともと物を大切にしているのですが、戦争と抑留を体験して、折尾が、菅畑が一番美しいと思っています。その折尾のことや村のことを知りたいと思っています。広報を大事にしています。それに、いろいろ聞かせてもらっても、やはり書いた物がないとすぐ忘れますから」

菅畑 西川次郎さん



と話され、永くつづり込む苦労についても……「ほかの人もそうでしょうが、好きだからできるんです。苦労なんて別にありません。良く読むからじゃないですか」と言われました。

ちなみに西川さんは、新聞は毎日欠かさず目を通し、「折尾市史」も一通り読んだとのこと。

広報にひと言……

また広報「とちお」の内容について、下来伝の佐藤清作さんは……「議会記事などは、決まったことしか載っていないので、興味をもって読む状態ではない。それから「おしらせ版」の作業停電は、東北電力が広報車を巡回するので二重だし

欠かさず読んでます

「広報「とちお」を永く保存している動機について、菅畑の西川次郎さんは……「私はもともと物を大切にしているのですが、戦争と抑留を体験して、折尾が、菅畑が一番美しいと思っています。その折尾のことや村のことを知りたいと思っています。広報を大事にしています。それに、いろいろ聞かせてもらっても、やはり書いた物がないとすぐ忘れますから」

ムゲな部分もある」と厳しい指摘をされ、更に今後の広報について……「現在のページ数は、市民の知りたいことをすべて掲載できないから、倍ぐらいいページを増し、議会の審議状況や、事業の計画段階で市民に知らせるなど、もっと市民が知りたいことを扱うべきではないか。市と市民を結ぶ広報には、それだけの金を使ってもよいのではないか」と意見を述べられました。

お聞かせください
地域のできごと

昨年十二月、広報「とちお」三百号を記念して一号からの保存者を探しましたが、残念ながらありませんでした。しかし、七人のかたが昭和四十二、三年から現在まで保存され、市に連絡いただきました。そのうえ広報紙に対してみなさんから、厳しくも温かい励ましを受け、今後、市と市民のかけ橋となる広報づくりに努力したいと思えます。そのためには、みなさんの地域や職場、学校のできごと、話題をお聞かせください。

☎2151-322
はいノ広報係です

早期架橋を 請願して

「市道橋梁新設に関する請願」
市道旭町・仲子線を経て、市道金沢・平・堤防線を結ぶ市道橋梁を早期に新設していただきたい、ここに請願いたします。



杵淵徳三郎さん

昭和五十三年三月六日に、平、旭町、滝の下町、仲子町の各区長連名で提出された請願書の件名と要旨で、当月開会の市議会で審議のうえ採択されました。

当時の旭町区長であった杵淵徳三郎さんは、請願について次のように話しています。

「まず第一に、仲幹線から刈谷田川堤防まで道路が新設されたけれども、橋がなければ道路が生きてこないこと、

橋を完成させたいと請願することにしました」
一方、市でもこの請願が出される前から橋を新設する計画を持っていましたが、財政面からなかなか実現できず、請願から四年、昭和五十七年に旭橋として完成し、市民のみなさんから利用いただけることになりました。



旭橋橋音

請願書・陳情書 のように処理

請願・陳情とは「国または地方公共団体の機関や議会に對して、希望を述べたり、実情を述べて、適当な措置を要望すること」で、議会に對しての請願には必ず紹介議員が必要のほかに、請願も陳情も内容的に大きな違いがあるわけではありません。

請願・陳情は、一般的には執行機関の長である市長と、議会の長すなわち市議会議長に對し、同じものが提出され、

請願権は憲法や法律で保障された基本的権利ですが、市に對する要望すべてが請願や陳情しなければ実現しないというわけではありません。

担当課に相談いただければ、請願書や陳情書を提出しなくても実現できることも多くあります。

その処理は次のように行われています。

市長に提出されたものは、企画調査課で受け付け、担当課(例えば市道に関するものは建設課)と協議が行われ、実行する、しないが決められます。

一方、市議会議長に提出されたものは、年四回以上開かれる市議会で審議され、採択不採択が行われ、その結果は市長に通知されます。

議会に提出された請願・陳情のうち、国などに意見書を提出するよう求めたもので、採択されたものは、議会で意見書を作り国などに提出されます。

市は、議会の採択・不採択の結果を尊重するのは当然ですが、請願・陳情の内容によっては、すぐ実行できるもの、予算などを伴うため遅れるもの、または実行不可能なものもあります。

請願書の書きかたは

を「陳情」にし、紹介議員のなにもと考えてよい。

○件名、要旨及び理由が簡潔にすること。
○請願書には、紹介議員が必要であるが、議員の数には制限がない。
○内容が数件に分かれるときは、箇条書きにする。
○陳情書は、法令に別段規定がないが、書式の「請願」(表紙)

○〇〇に関する請願書
紹介議員 氏 名

理由……
要旨……
件名……について

地方自治法第百二十四条の規程により、右のとおり請願書を提出します。
昭和 年 月 日
住所 氏 名
氏 名 殿
栃尾市議會議長

春の火災予防運動 4月1日～4月7日



火災原因のふろ釜、熱交換器に大量のススが付着している

多いふろ釜からの出火

四月一日から四月七日まで春の火災予防運動が行われます。この運動は例年行われ、そのつど、「今年こそ無火災に」とお知らせしますが、なぜか火災はなくなりません。そこで、火災の原因となるものがどこにあるか、家族全員が知っておく必要があります。天災は別として、電気、ガス、石油器具の取り扱いミスなど、不十分な管理による火災があとをたえません。特に、市内では石油ふろ釜の管理が悪くて火災を起こすケースが多く見られます。一般的なふろ釜は、床面より低い位置に設置され点検しにくい状態が多いようです。

原因別火災発生状況 (昭和52年～56年)

原因別	年別	総数	52年	53年	54年	55年	56年
件数		91	21	21	15	20	14
マッ	チ	1	1				
タバ	コ	2	1			1	
たき	火	17	4	5	3	2	3
火遊	び	5	1	2		1	1
落	雷	1		1			
自然発	火	1	1				
機り火・取り戻・消し戻		4	2	1	1		
放	火	4		1		3	
煙	突	2					2
風呂釜	石	5	1	1		2	1
	ガ	3	1	1			1
ストーブ	薪	2		1	1		
	石	7	1	2	2		2
コタツ	薪	1		1			
	電	3	1			1	1
豆	炭	1			1		
	炭	1					1
石	油	3	1			2	
	ガ	3					1
電	気	3		1	1		1
	配	1				1	
分	類	7	1	1	2	3	
	不明	17	5	3	4	4	1

燃焼器具の扱い 基本に徹して

上の写真は、しん上下式石油ふろ釜でくし状になった熱交換器部分に「スス」が大量に付着したため、炎が上方へ出ることができず釜本体が過熱し、さらに燃料まで加熱したため、可燃性ガスを多量に発生させ燃えあがり、火災の原因になった釜です。

防火査察を強化 危険箇所は改善指導

石油器具によるものばかりでなく、電気器具、燃焼器具などは、①説明書に従い正しく使う②使う人が使い方をよく知る③ときどき器具を点検するなど基本的な使い方を怠らないようにすることが大切です。



査察では、火気の使用場所や危険物の貯蔵場所を点検し危険箇所は改善するように指導する

消防団員の出勤 延べ五、六七六人

昨年、消防団員が査察、雪害、訓練演習などに出勤した回数は二百七十六回、出勤延べ人員は五千六百七十六人でした。市内の消防体制は、一消防署、十二分団の消防組織があります。消防署は、救急隊員を含め三十四人、消防団は九百九十六人(三月四日現在)。この人たちが万一の火災、風水害に備えてその任務に当たられ、消防団員としては、職業をもちながら地域の安全と災害を防止するために努められています。緊急出動がないようにしたいものです。

市民の誇りに ゼロ継続日数板

市、農協、安全協会は、限りなく交通死亡事故ゼロが続くようにと、交通死亡事故ゼロ継続日数広報板をそれぞれ一基ずつ警察署に寄贈しました。警察署は、この広報板をさる二月六日、谷内一丁目の大丸商店前、金町一丁目橋尾電報電話局前、新町橋尾印刷所前の三か所に設置し、交通死亡事故ゼロ継続日数を推進委員から差し替えてもらっています。

橋尾市から交通安全をなくすため、警察署をはじめ指導機関が、いろいろな対策を講じていますが、これらの対策はとかく市の中心部に集中する傾向にあります。無事故対策は、地域の津々浦々まで行い、市民が一体になって実現するものと、橋尾警察署は、さる二月二十四日新潟県警のヘリコプター「こしかぜ」の出動を依頼。空から一之貝、西谷、半蔵金、中野俣の四つの小学校を訪れました。



西谷小に着いた「こしかぜ」を見物する児童たち

桑探峠に 交通安全塔



山田町、共栄建設の会長であった故本田春吉氏の遺志で、さる二月二十五日、県道田井・橋尾線通称桑探峠に交通安全塔(写真)が建てられました。故人は、長年、市の交通安全協会の理事を務められ、交通安全教育などに献身的に尽くされた。警察署は、早速、橋尾市民は交通ルールを守る人、とアピールする交通安全塔を建てることにしたものです。

観光写真コンクール 最優秀 今井・須藤さん

昨年八月から募集していた昭和五十六年度橋尾市観光写真コンクール。十月六日の第一部審査に続き、さる二月十八日、第二部の審査を行い入賞者を決めました。最優秀賞には、今井厚さん(大野町二)の「守門と前山橋」、須藤茂さん(旭町)の「秋葉公園」の二点。これらの入賞作品は、二月二十三日から二十七日まで市役所市民ホールで展示しました。

児童の基礎技術みがく 青年会議所のスキー講習会



滑べる前に指導員から説明を聞く児童

雪国に住む子は、しつかりしたスキーができてなくては、栃尾青年会議所（江塚勇一理事長）は、さる二月七日赤坂スキー場で、第一回JCSスキー講習会を行いました。今回は、市内小学校五・六年生五十人を対象に、スキーの基礎技術を習得してもらうために行ったもので、準備体操、スキーの着装、歩き方、ストックの使い方などの基本動作を教わった後、スキーの

能力別に四クラスに分かれ、ボーゲン、クリスチャニアなどまで行ない、講習の終る午後三時ころには、ほとんどの児童が教わった動作ができるようになりました。

毎年の行事にして 指導に当たりたい

今回の講習会は、指導員の確保から受講者を五十人に行っていました。参加した児童たちは、学校の授業として行われていることもあり、滑べることにについては、かなりの技術を備えていたが、基本動作には、いま一步の技術訓練が必要な面がうかがえました。

講習会を担当した渋谷俊隆青少年開発委員長は、「児童たちは、冬の体育として学校でスキーを行っているため、上達も早い、この講習会をできれば毎年行うようにしていきたい」と語り、児童たちの早い上達ぶりにおどろいた様子で、ときおり降る雪の中、児童たちの世話をしていました。



そろって米寿を迎え、ますます元気な藤田さん

夫婦で米寿迎え祝福 藤田孫次・アイさん(大野原)

市内大野原の藤田孫次さん、アイさん夫婦は、このほど数え年88歳の米寿を迎えられたため、市は金盃とお祝い状を贈り祝福しました。市は、昭和42年から米寿を迎えられた方を祝っています。夫婦で米寿祝を受けたのは藤田さんがはじめて。孫次さんは、82歳のとき白内障で右目を手術した以外は病気がないことがないそうです。長生きをしようと特に気を配ったことはなく、「好き嫌いをせずなんでも食べることが長生きの秘訣かなあ」といい、夫婦とも88歳とはとても思えない若さです。今回、市内で米寿祝を受けたかたは35人(男10人・女25人)です。

出稼先訪問四年ぶりに再開 東京・神奈川方面六社

四年ぶりに再開した出稼先事業所訪問。昨秋から市内を離れて働いている人は五百五十人にのぼります。このかたがたを励ますことと、就労先の事業所の理解を深め、今後のつながりを強くしようというものです。今年からは二月十五日から十七日まで、渡辺市長、木口議長、佐藤農協組合長などが東京、神奈川方面の会社を訪問しました。



この出稼先事業所訪問は昭和四十六年から五十三年まで続けましたが、その後一時中断していました。ところが

訪問事業所は、㈱大盛工業(建設業、葛飾区南水元)出稼者三十四人、㈱武士俣組(建設業、足立区西綾瀬十三人、山崎産商(金属製品製造業、江東区亀戸)五人、日本精工(多摩川工場(自動車部品製造業、太田区下丸子)二十一人、㈱横山工務店(建設業、川崎市中原区)九人、国産金属工業(自動車部品製造業、太田区蒲田)四人)の六事業所です。出稼者の皆さんには、故郷が少雪とあって話し合う中にも明るさが感じられました。



念入りに造られたサイの神、正午に着火

子供たちに、昔、さかんに行われた行事を教えながら、親子、地域との連帯感を深めようと、町内や子供会などが地域で行うようになってきた「サイの神」。二月二十日から二十一日にかけて行われました。

中央公園では、克雪フェスティバルが行われ、町内や部落ではサイの神と、冬の行事一色といった日になりました。二十日は降り続く雨の中を準備を進め、翌日に備えました。本番の二十一日は、前日と違って変わった晴天、気温もぐんぐん上って三月下旬の陽気、寒さで家から一歩も出なかつた人までが、表に出て久しぶりの日光浴、正午ころにはどこも人出は最高潮に達しました。

親子が一日中 楽しんで平地区

サイの神は、その昔、地域に病魔の入ることを防いだり焼き捨てる神ともいわれましたが、今では、無病息災、五穀豊饒(ほうじょう)まで祈られるようになってきた向きさえうかがえます。平地区では、区内あけてのサイの神、竹を主柱にトバがけした立派な社(やしろ)ができていました。広場には、甘酒やおでんのサービスコナ、チビッコが遊ぶ相撲場が設けられ、大人と子供が一日中ごせする工夫がこらしてありました。

祭り化したサイの神 子供会などが各地で催す

第19回市民かるた会 実力を発揮した荷頃勢

第十九回市長杯争奪小倉百人一首市民かるた大会(栃尾市公民館、栃尾小倉会主催)が、さる二月七日、栃尾市公民館で行われ、小中学生など八十六人が参加して熱戦を展開しました。大会は、小学生二、中学生高校一般の四クラスに分けたトーナメント方式で試合が進められ、小中学生クラスは子供会が毎週一回練習してきた荷頃勢が入賞を独占し、高校一般では、かるたの盛んな赤谷勢が上位を占めました。

このかるた大会は、冬期間青少年の健全育成のための手段として、各子供会で進めている成果を試したり、趣味としてやっている方の成果を競う場として行われているものです。大会の結果は次のとおり。▽小学校低学年 ①佐藤君子(荷頃小三)②新井理恵子(同)③齊藤定一(同)④諸橋成輝(同)▽小学校高学年 ①齊藤雅子(荷頃小五)②渡辺洋子(同四)③高山昭(同六)④多



白熱した1対1の戦い



寄贈の模型を教育長に説明する三年八組の高橋勇代表

栃尾城址模型の寄付受ける 栃尾高校生が1か月かけ制作

栃尾高校3年8組の生徒41人が作った、栃尾城址(し)の模型が、このほど市に寄贈されました。栃尾城は、上杉謙信(幼名景虎)が少年期を過ごした中世の山城。昭和35年に県の史跡に指定されてからは、保存に力を入れていますが、くわしいことは一部のを除いてあまり知られていません。この模型を見れば、往時の城址は一目瞭然。今後、みなさんが城址を探索する時に大きな資料になります。模型の大きさは縦110センチ、横140センチの城址全体を形どったものと、本丸跡を拡大した縦110センチ、横150センチの二つ。紙粘土で作られ、きれいな色が塗られています。市は、この模型を文化センターができるまで総合体育館に置き、城址探索の参考にしてもらいます。

広報とちお おしらせ版

毎月10日・25日発行

1982 3,10

発行 新潟県栃尾市長 編集 栃尾市総務課 (02585) 2-2151

会場▶市民会館
時間▶午後1時30分～午後2時
(麻しんは午後1時30分までに集合)

種類	月日	対象者生年月
三種混合1期1回目	4月1日(木)	54.9~55.3
麻しん	4月2日(金)	55.4~55.9
	4月7日(木)	
	4月8日(木)	
ポリオ2回目	4月9日(金)	56.1~56.6
三種混合1期2回目	4月27日(火)	54.9~55.3
ポリオ1回目	5月7日(金)	56.7~56.12
三種混合1期3回目	5月25日(火)	54.9~55.3
三種混合1期もれ期	6月22日(火)	54.9~55.3 53.9~54.3
ツベルクリン注射	6月30日(木)	※ 56.1~56.12 前回は陽性の人 前回は陰性でB CGを接種し なかった人
ツベルクリン判定 B C G 注射	7月2日(金)	
ツベルクリン注射	7月6日(木)	※ 56.1~56.12 前回は陽性の人 前回は陰性でB CGを接種し なかった人
ツベルクリン判定 B C G 注射	7月7日(木)	
ツベルクリン判定 B C G 注射	7月8日(木)	※ 56.1~56.12 前回は陽性の人 前回は陰性でB CGを接種し なかった人
ツベルクリン判定 B C G 注射	7月9日(金)	
ツベルクリン注射	7月14日(木)	※ 56.1~56.12 前回は陽性の人 前回は陰性でB CGを接種し なかった人
ツベルクリン判定 B C G 注射	7月15日(木)	
三種混合1期もれ期	7月15日(木)	54.9~55.3 53.9~54.3
ツベルクリン判定 B C G 注射	7月16日(金)	※に同じ

春期予防接種

四月からの各種予防接種についておしらせします。日程を変更する場合がありますので、今後のおしらせ版をよくご覧ください。

予防接種ごとに適正な接種年齢と接種間隔がありますので、きちんと守ってください。また、接種当日は問診票を正確に記入し、母子手帳を必ず持参してください。

三種混合 ワクチン

ジフテリア・百日せき・破傷風の混合ワクチンです。生後二十四か月から四十八

ポリオ

小児マヒのワクチンです。

麻しん

はしかの予防接種です。生後十二か月から七十二か月の間に一回受けてください。(生後十八か月から三十六か月の間に受けるのが望ましい)なお、はしかにかかった人は受ける必要はありません。

ツベルクリン反応検査 BCG注射

結核の予防接種です。生後四十八か月までに一回受けてください。(前年疑陽性の人及び陰性でBCGを接種しなかった人も受けてください。)

日本脳炎

満三歳以上の人が対象となりますが、日程など詳細は五月十日号のおしらせ版に掲載します。

銃砲刀剣類登録審査会

古式銃砲及び刀剣類を発見した人は、県教育委員会が開催する銃砲刀剣類登録審査会で審査を受け、登録する必要があります。

五十七年度開催日
昭和五十七年四月十五日(木)、七月十五日(木)、九月十六日(木)

会場 長岡市厚生会館
お問い合わせ 県教育庁文化行政課 (☎0252-25511)

郵政局へ転居届を

三月と四月は就職、進学、転勤の多い月です。転居する場合、郵便局へ転居届を出しましょう。郵便局へ転居届を出され、届出の日から一年間、新しい住所へ転送いたします。転居の届出は、郵便局又は

総合体育館 競技場
内容 民謡、コーラス、神楽舞など
内容 民謡、コーラス、神楽舞など
内容 民謡、コーラス、神楽舞など

電話の移転はお早めに

三月、四月は転勤などで引越しが多く、電話の移転工事が大変ご迷惑です。電話の工事は、ご希望の日に行うことができます。ご希望の日に行う場合は、ご希望の日に行うことができます。ご希望の日に行うことができます。

電話帳の名前わかりやすいですか

七月に新しい職業別電話帳を発行します。四月八日までに変更などのお申し出をいたしてください。新しい名称で電話帳に掲載されます。

第34回 婦人週間のテーマを考えるつどい

あらゆる分野への男女の共同参加。明日を築く役割と責任。という婦人週間のテーマについて、男女が新しい役割と責任を共に担っていくための基本となる、相互の自立と協調について考えます。

石油燃焼機器技術講習会

火災予防条例の改正により、石油燃焼機器の設置及び点検整備を「熟練者」が行うことになりました。この熟練者養成講習会を次により行います。

四月十五日(木)から十七日(土) 三条市消防本部講堂
受講料 一万二千元
申込(問い合わせ) 市消防署 (☎2761)

勤労青少年ホーム 教養講座25期生募集

勤労青少年ホームでは、教養講座の第25期生を募集しています。希望者は、次の要項により申し込みください。

〈利用資格〉 市内に居住もしくは勤務する青少年(農業・自営等の職種は問いません)。
〈開設期間及び回数〉 4月から9月までの6か月間で月2回開設(ただし、ギター教室は毎週開設)。
〈申込〉 印鑑と290円(行事等の傷害保険料)を持参のうえ、3月27日(土)までの受付時間内に、勤労青少年ホームの窓口で手続きをしてください(電話での受け付けはいたしません)。
〈受付時間〉 月曜日から金曜日までは午後1時から9時、土曜日は午前8時30分から午後5時まで。

講座名	コース	定員	教材費	備考
料理教室	火曜	12人	900円	
	金曜	12	900	
華道教室	木曜	15	1,300	草月流
	金曜	15	1,300	池坊
茶道教室	月曜	10	400	宗福流
	火曜	10	400	裏千家
着物着付教室	水曜	12	500	
ブーケ教室	水曜	10	実費	
紙人形教室	金曜	10	実費	
暮らしの専科	水曜	10	実費	
ギター教室	火曜	10	200	フォーク

行政相談 税務相談

三月二十四日(木)午前八時から午後五時まで
三月二十四日(木)午前十時から午後三時まで
市役所市民相談室

国民年金相談
三月二十四日(木)午前八時から午後五時まで
十分から午後五時まで
市役所市民課国民年金係

家庭児童相談
市の執務時間中いつでもおいてください
市役所別館家庭児童相談室

心配ごと相談
毎週月・水曜日午前十時から午後三時まで
市役所別館社会福祉協議会

税の納期

国民健康保険税 納期 3月31日
国民年金保険料 納期 4月1日

献血

母手帳を忘れずに持参してください。問診票は必ず記入してください。

とき 3月19日(金) 午前10時～午後3時
ところ 市役所市民ホール
献血は健康のパロメーター
あなたの愛を献血に!

交通事故 2月 5件 死者 0人 傷者 5人
まだまだ寒い日が続きます。路面凍結に注意を

とちお《出稼特集号》 おしらせ版

1982 3, 27

発行 新潟県栃尾市長 編集 栃尾市商工観光課 (02585) 2-2151

地域相談指導員は、出稼労働者及び家族に対する相談活動を行っております。本年も二人の方をお願いする予定でおりますので、新潟県出稼労働者相談員共々、心配事なりお願ひなりご活用下さるようお願いいたします。

〔栃尾市地域相談指導員〕
磯部誠一さん 森上九四二
⑧ 3081

中西俊三さん 泉一三二一〇
③ 3171

〔新潟県出稼労働者相談所〕
〔東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・静岡県地区〕
東京都千代田区平河町二ノ六ノ三
〔新潟県東京事務所〕
⑩ 03-2631-5571
〔愛知県・岐阜県地区〕
名古屋市中村区下広井町一ノ一二四
〔愛知県総合雇用センター〕
⑩ 052-582-8171

● 出稼先事業所訪問
二月初旬 六事業所を訪問する予定です。

昭和五十七年度 出稼労働者 援護対策事業のあらまし

地域相談指導員の設置

● 正月帰省バスの運行
例年好評をいただいております。浦和に配車（うち一台は浦和に配車）を運行します。

● 安全就労推進会議（リーダー会議）を九月末頃予定しております。例年出席者が少ないようですが、お集まりくださるようお願いいたします。

出稼前健康診断の実施

家庭と遠く離れて、しかも六カ月という長期にわたるため、健康には十分配慮しなくてはなりません。五十五年度の冬期出稼者で、死亡・負傷をした方が五十三名（新潟県全体）にも及んでおります。幸い栃尾市出身者には、特に問題が生じているという事例は聞いておりませんが、出稼者が年々高令化してゆくと、新潟県では、これまで健康診断を、出稼労働援護対策事業に組み入れ、市で行うようにしております。

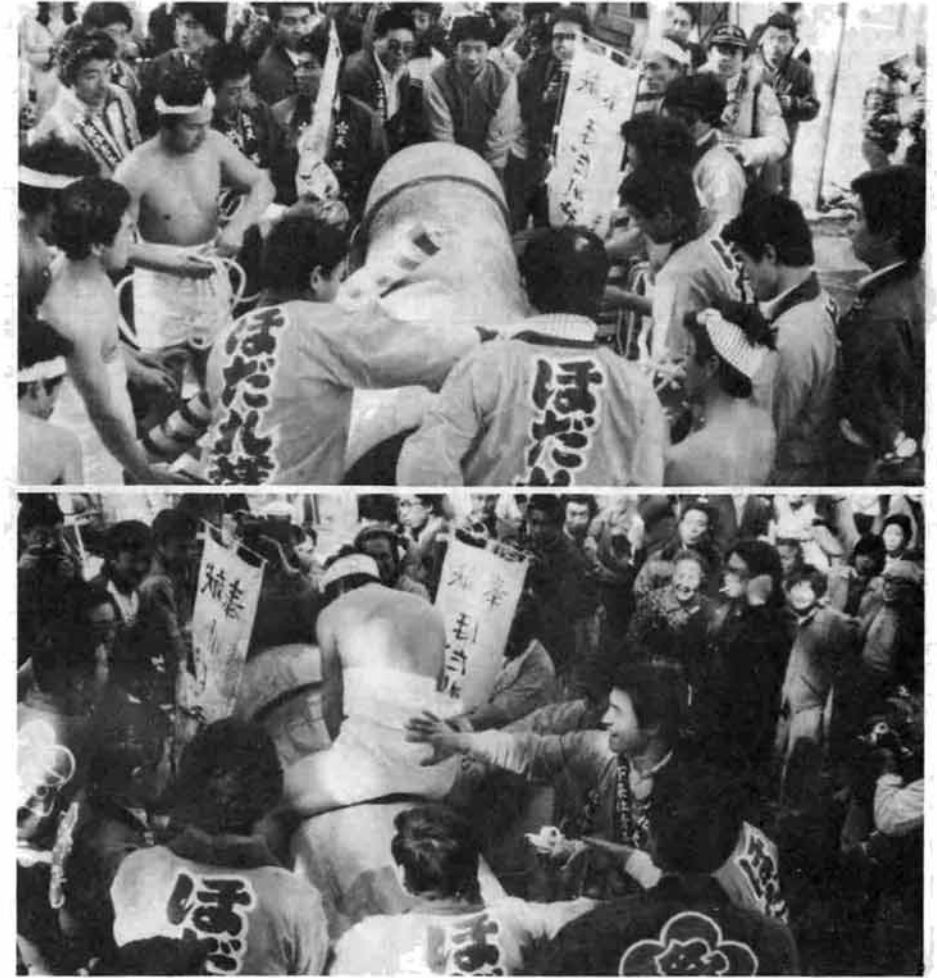
これまで非常に受診率が低く、低い中でも五十パーセン



奇祭 ほだれ祭 (下来伝)

秋冬期出稼労働者地域別健康診断受診状況

区分	地域別	55年	56年	受診者数	受診率	指導区分						診断区分				
						指導員	要指導	要指導	要指導	要指導	要指導	要指導	要指導	要指導	要指導	要指導
合計		596	540	258	43.3%	155	20	48	35	45	21	55	14	13	5	24
旧尾町		21	16	4	19.0%	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
下地谷		5	9	2	40.0%	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
上地谷		59	56	15	26.7%	9	2	2	2	4	2	1	1	1	1	1
東谷		116	55	55	47.4%	31	2	12	10	15	20	8	6	6	6	6
入東谷		85	30	34	34.8%	18	5	3	4	5	6	2	4	4	4	4
南郷		49	16	14	24.5%	7	5	1	1	2	5	1	2	1	2	3
西谷		64	27	26	40.6%	20	3	2	1	1	1	9	1	2	1	1
中野保		138	85	63	49.23%	35	16	7	5	3	23	4	4	3	3	3
半蔵全		91	17	17	20.9%	8	3	1	5	4	4	3	1	1	1	1



祭りは祝詞奉上のあと村内に嫁入りした初嫁の厄払い、……
晒一枚に身じたくした青年たちによって、ご神酒樽の鏡開き……
き、この神酒を献じて五穀豊穡を祈願、ご神体が移降され……
ると祭りはクライマックス。ご神体は高さ二・一メートル、周囲……
一・八メートル、重さ五百結の巨大な男根型のご神体、ケヤキで……
造られております。……
この「ほだれ様」は、五穀豊穡、縁結び、商売繁昌とし……
て信仰を集めています。……

〔別紙〕 投票用紙及び不在者投票用封筒請求書

昭和57年 月 日 投票所 新潟県 市 区 町 丁目 番地

1. 投票用紙 (1枚)

2. 不在者投票用封筒 (1枚)

3. 封筒 (1枚)

4. 封筒 (1枚)

5. 封筒 (1枚)

6. 封筒 (1枚)

7. 封筒 (1枚)

8. 封筒 (1枚)

9. 封筒 (1枚)

10. 封筒 (1枚)

11. 封筒 (1枚)

12. 封筒 (1枚)

13. 封筒 (1枚)

14. 封筒 (1枚)

15. 封筒 (1枚)

16. 封筒 (1枚)

17. 封筒 (1枚)

18. 封筒 (1枚)

19. 封筒 (1枚)

20. 封筒 (1枚)

21. 封筒 (1枚)

22. 封筒 (1枚)

23. 封筒 (1枚)

24. 封筒 (1枚)

25. 封筒 (1枚)

26. 封筒 (1枚)

27. 封筒 (1枚)

28. 封筒 (1枚)

29. 封筒 (1枚)

30. 封筒 (1枚)

31. 封筒 (1枚)

32. 封筒 (1枚)

33. 封筒 (1枚)

34. 封筒 (1枚)

35. 封筒 (1枚)

36. 封筒 (1枚)

37. 封筒 (1枚)

38. 封筒 (1枚)

39. 封筒 (1枚)

40. 封筒 (1枚)

41. 封筒 (1枚)

42. 封筒 (1枚)

43. 封筒 (1枚)

44. 封筒 (1枚)

45. 封筒 (1枚)

46. 封筒 (1枚)

47. 封筒 (1枚)

48. 封筒 (1枚)

49. 封筒 (1枚)

50. 封筒 (1枚)

51. 封筒 (1枚)

52. 封筒 (1枚)

53. 封筒 (1枚)

54. 封筒 (1枚)

55. 封筒 (1枚)

56. 封筒 (1枚)

57. 封筒 (1枚)

58. 封筒 (1枚)

59. 封筒 (1枚)

60. 封筒 (1枚)

61. 封筒 (1枚)

62. 封筒 (1枚)

63. 封筒 (1枚)

64. 封筒 (1枚)

65. 封筒 (1枚)

66. 封筒 (1枚)

67. 封筒 (1枚)

68. 封筒 (1枚)

69. 封筒 (1枚)

70. 封筒 (1枚)

71. 封筒 (1枚)

72. 封筒 (1枚)

73. 封筒 (1枚)

74. 封筒 (1枚)

75. 封筒 (1枚)

76. 封筒 (1枚)

77. 封筒 (1枚)

78. 封筒 (1枚)

79. 封筒 (1枚)

80. 封筒 (1枚)

81. 封筒 (1枚)

82. 封筒 (1枚)

83. 封筒 (1枚)

84. 封筒 (1枚)

85. 封筒 (1枚)

86. 封筒 (1枚)

87. 封筒 (1枚)

88. 封筒 (1枚)

89. 封筒 (1枚)

90. 封筒 (1枚)

91. 封筒 (1枚)

92. 封筒 (1枚)

93. 封筒 (1枚)

94. 封筒 (1枚)

95. 封筒 (1枚)

96. 封筒 (1枚)

97. 封筒 (1枚)

98. 封筒 (1枚)

99. 封筒 (1枚)

100. 封筒 (1枚)

栃尾市選挙管理委員会
〒940-02
栃尾市役所選挙管理委員会
栃尾市金町2-1-5
☎ 2151 内線362

出かせぎ先からの不在者投票の手続き

任期満了に伴う新潟県知事選挙の投票日が四月二十五日に行われます。出稼先からの

① 投票用紙及び不在者投票用封筒請求書の用紙を、投票所から請求し、投票用紙と不在者投票用封筒を郵送していただきます。

② 請求された用紙を本人あて郵送します。

③ 用紙に別紙記載例により書いて印鑑を押して、栃尾市役所内の選挙管理委員会へ郵送していただきます。

④ 用紙が到着すると名簿と照合のうえ、投票用紙と証明書を本人あて郵送します。

⑤ 投票用紙と証明書が入った郵便が届いたら、封を切らないでこれを持参し、その日か翌日のうちに「出かせぎ地の市町村役場の選挙管理委員会」へ出向いてください。

⑥ 選挙へ出向いたら、不在者投票をしたい旨を申し出て、投票用紙と証明書を提出して係の指示に従い、そこで投票を行うことになります。

とちお 広報

57, 3

出稼特集号

発行 新潟県栃尾市長 編集 栃尾市商工観光課 (02585) 2-2151

帰郷目前の事故に注意

長岡公共職業安定所栃尾分室 主任 天海晴雄

ご承知のとおり今年の冬は雪も少なく、しのぎやすい冬でございましたが、皆様の現地での生活は如何でしたでしょうか。景気がもうひとつパツとしない中での出稼は、何かと厳しいものがあつたのではないかとお察しいたします。長く厳しかった出稼も、お帰りの時期を控えておりますが、そろそろ疲れが出る頃でないかと思われまふ。事故にはくれぐれも注意して下さい。お帰りを目前にしての気のゆるみと、疲れの蓄積が手伝って思ひがけない事故を引き起す時期でもあります。もう一度、気を締め直して、頑張して下さい。1人の事故者もなく、元気なお顔でお会いできる日をお待ちいたしております。今年の雇用保険受給をはじめ技能講習、健康診断等について一言お願いしておきましたのでお読みいただき、御協力下さるようお願いいたします。

本年度の秋冬期出稼状況

《中高年今者が八一パーセントを占める》

地域別では、中野保地区百三十名、半蔵金地区七十七名、東谷地区七十七名、西谷地区五十六名、荷頃地区四十八名、上塩谷地区四十三名、入東谷地区三十六名、旧栃尾町地区三十五名、下塩谷地区十名の合計五百二十二名と前年に比較して二十八名減りました。就労地区は東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬等関東地域が、三百六十三名と全体の七十一パーセントを占めていま

帰郷前の準備を

そろそろ身の廻りの整理や各種保険の処理など帰郷の際にあつてのことのないよう、前もって会社にお願ひしておきましょう。

特に離職票は、必ず確認し、就労日数、賃金、離職理由、短期特例か等早々送り届けてもらうよう会社にお願ひしてください。また今年から二枚となりましたので、二枚とも送つてもらうようにしてください。未払い賃金があつた場合は早急に相談員等に連絡してください。また出稼手帳の未払い賃金確認欄には、必ず記入してもらつて職安に来所の折に報告してください。

帰郷後の求職手続き

来所される場合は、出来るだけグループにまとまつて、いつ来所したら良いか、リーダーの方は必ず職安に連絡してください。月曜日から金曜日までの午後一時を指定しますので、遅れないようにしてください。他の日に改めておいでいただくこともあります。持参するものは次の通りです。一、離職票(一、二両方)

出稼先事業所訪問を実施

二月十五日、十七日(東京・神奈川)



国産金属工業(株)

出稼先事業所訪問を実施、二十年前、栃尾に求人のため小さな電車に乗り、細い道をガケ崩れを避けながら中野保まで行った事がなつかしい(大盛工業社長)長いつき合いで家庭的な雰囲気でも感謝をされている。(市長)出来れば、新潟日報も送付して下さい。子供に早く稼を、そのために

二、出稼手帳
三、被保険者証(今年から様式が変わりました)
四、印鑑

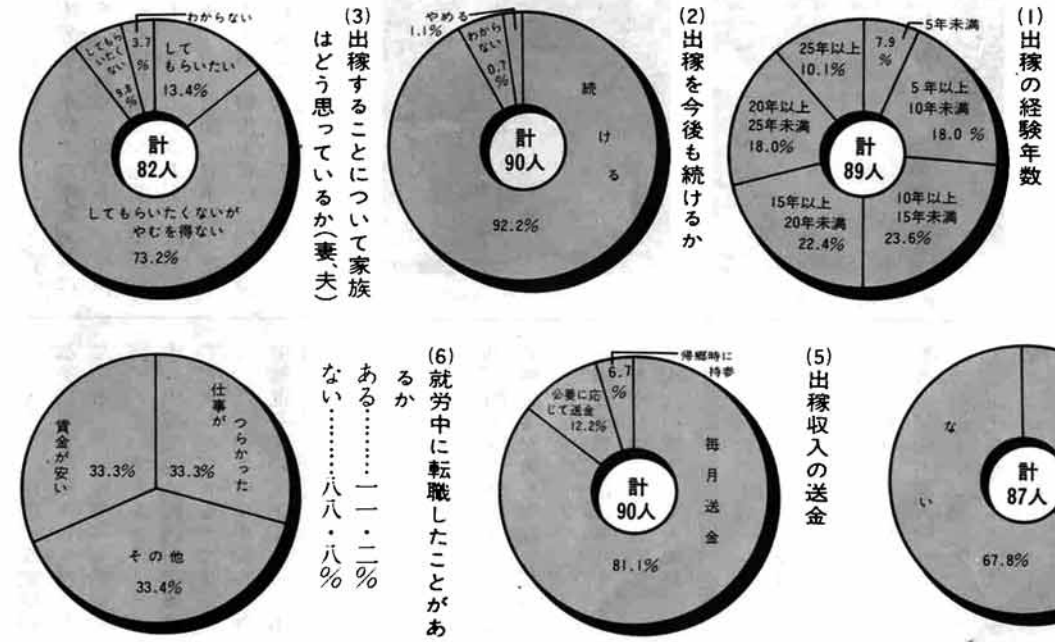
昭和56年度出稼労働者技能講習希望アンケート結果

種目	希望人員	~39才	40~49才	50才~
玉掛	32人	9人	8人	15人
ガス溶接	27	9	5	13
フォークリフト	12	1	6	5
はい作業	14	6	4	4
酸欠主任	29	14	8	7
足場組立	56	16	22	18

★職安からのあしらせ

①技能講習会(酸欠主任等)を積極的に受講して、現場での安全就労、技能取得に心がけてください。
②出稼前(後)の健康診断を必ず受けてください。
③市役所や職安等が計画する各種研修会には必ず出席されるようお願いいたします。

次の調査表は栃尾分室で雇用保険特例一時金を受給した出稼労働者の中から無作為に抽出した九十名を対象に、日頃考えていることや就労の実態を調査したものです。その一部をご紹介します。



早く高速道路の開通を。東京に来てはいるが、栃尾で成人式をしたい、その手続きは(出稼者)今秋は是非求人開拓に行きたい。(国産金属工場長)等々、栃尾出身者、工場役員の方々と懇談してまいりました。長期にわたり出稼をされている方が多く、企業に大きく貢献していると、どの会



大盛工業(株)

社でも言われました。しかし、不安定な季節工の求職確保に重点をおく必要があり、積極的な会社交流が必要と思われしました。(大盛工業、武士俣組、山崎産商、日本精工多摩川工場、横山工務店、国産金属工業 六社訪問)

栃尾市の地理的、環境的の改善により出稼人口も減少しているものの中、中高年令者が全体の八〇パーセントを占め、市の出稼労働者援護対策事業の充実が必要となつてまいりました。前年度の出稼安全就業推進会議の席上、出稼先事業所訪問の再開を提案され本年度六事業所を訪問し、出稼前健康診断の実施等新たに援護事業に組み入れ「健康で明るい出稼」をモットーに、県、職業安定所等と連携して各種援護対策を実施してゆくことにしています。

職安の報告によりますと、
(1) 就労経路の正常化対策
(2) 求人確保(求人開拓)
(3) 技能講習会の一層の充実
(4) 健康診断の実施
等があげられております。

栃尾市の出稼労働者は年々高令化し、建設業敬遠、製造業希望指向を示していますが、製造業関係の求人のうち、大部分がグループ就労者によって固定化され、新規の求人が望めない状況にあります。事業所に対し一層の求人依頼、求人開拓が必要とされております。技能講習会は希望者が多く意欲的な方が多いので、高令者が多く種目の選定が必要となつてきております。出稼に対し要望等あります。たらお聞せ願ひいたします。